<一般会計>

5 政策経営部

みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます · 160 防災意識の普及・啓発 · · · · · · · · · · · · 161 防災センター管理運営 · · · · · · · · · · · · · 162
区民の参画・協働と開かれた区政を実現します · 163 SNSを活用した情報発信の強化 · · · · · · · · · 164
質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進 します · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
全庁LANの運営・・・・・・・・・・・・・ 167 全庁LANの運営・・・・・・・・・・・ 167
全庁LANのリプレース・・・・・・・・ 167 Web会議システムの運営・・・・・・・・ 167
リモートワークシステムの運営・・・・・・ 167 無線LANの運営・・・・・・・ 167
総合住民サービスシステムの運営・・・・・・ 169
総合住民サービスシステムの運営・・・・・・・ 169 社会保障・税番号制度対応・・・・・・・・ 169
総合住民サービスシステムのリプレース・・・・・ 169 行政手続オンライン化実証実験・・・・・・・ 169
総合行政システムのリプレース・・・・・・・・ 171 デジタル化の推進に向けた調査検討・・・・・・・ 172

みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます

【ちよだみらいプロジェクト:施策の目標 5】[73ページの再掲]

区民、事業者、来街者等、地域を構成するすべての人々の助けあいによる減災のまちづくりを進めるとともに、危機管理即応態勢を構築していきます。

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 防災意識が高く、災害時要援護者を含めた地域の協助態勢が構築できている。
- 地域の連携と協力により、災害時における都市の安全性が高い地区が実現できている。
- 災害時の救護態勢の強化など、適切に対処できる危機管理意識の高い態勢が構築できている。

(単位:千円)

	ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を 見するための主な取組み 主な事業(掲載ページ)	新規 拡充 独自	3予算額	2予算額	増(△)減額
防药	└ 災・減災対策の推進/災害に強いまちづくり				
	 防災意識の普及・啓発(P161) 	拡充	25,145	24,547	598
	防災センター管理運営(P162)	拡充	14,093	28,187	△ 14,094
防約	災・減災対策の推進				
	福祉避難所の防災訓練(P74)	新規	2,310	0	2,310
そ(D他				
	 建物の耐震化等促進事業(P149) 		284,279	462,178	△ 177,899

令和3年度予算額 (前年度予算額)

拡充

防災意識の普及・啓発

25,145 千円 **24,547** 千円)

区は、東京都によって高潮浸水想定区域が指定されたことや東京都が管理する神田川の洪水浸水想定区域等が見直されたことを受け、ハザードマップを新たに作成・修正します。

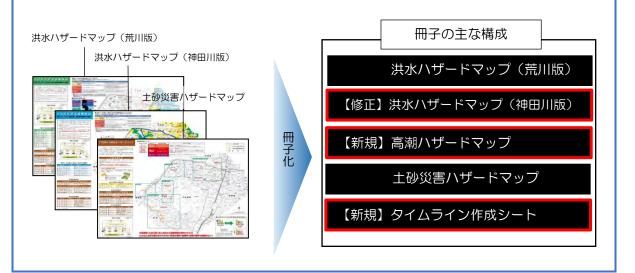
作成・修正にあたっては、水害に対する様々な情報をわかりやすく周知するために、<u>複数あるハザードマップなど関連する情報をまとめて冊子化し、区内全世帯に</u>配布します。

また、日頃の備えや水害発生時等の適切な行動につながるよう、<u>ハザードマップ</u> や水害についての解説動画を制作し、区ホームページを通じて周知します。

POINT ハザードマップの冊子化とは?

新たに高潮ハザードマップを作成するにあたり、伝えたい災害情報や避難情報等が増えることを考慮し、ハザードマップを「わかりやすく」「手に取りやすいもの」とするため、複数あるハザードマップを1冊の冊子にまとめます。

冊子化にあたっては、水害による逃げ遅れを防ぐためにタイムライン(事前行動計画)の考え方が極めて重要であることから、一人ひとりが時系列で自分の避難手順を書き込めるページを用意し、タイムラインの作成を普及・促進します。



防災センター管理運営

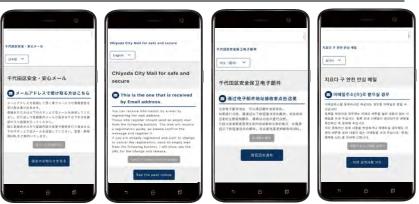
拡充 ▶災害対策・危機管理課

14,093 ∓⊞

28,187 千円)

区は、庁舎内に防災センターを設置し、様々な防災・防犯情報等を 発信しています。このうち、携帯電話やスマートフォン等へ情報をメ ールでお知らせする「千代田区安全・安心メール」は、防災行政無線 が聞き取りにくい環境でも必要な情報をお伝えすることができること から、防災行政無線を補完する情報伝達手段としての役割も担ってい ます。

近年、千代田区の外国人人口は増加傾向にあり、多言語で災害情報 を発信することの重要性が増している状況を踏まえ、日本語のほか、 英語・中国語(簡体字)・韓国語の計4か国語での配信を開始します。



▲多言語配信のイメージ

2

区民の参画・協働と開かれた区政を実現します

【ちよだみらいプロジェクト:施策の目標 36】

区民等の積極的・主体的な参画と協働を推進するとともに、必要な区政情報を効果的に提供していきます。

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 区民の区政への参画が広がっている。
- 区と活動主体の協働が広がり、地域のニーズに的確に対応している。
- 区民が知りたいと思う区政情報が、いつでも手軽に入手できている。

(単位:千円)

	ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を 現するための主な取組み	新規拡充	3予算額	2予算額	増(△)減額	
	主な事業(掲載ページ)	独自				
×.	民参画の機会の提供					
	モニター運営		695	620	75	
	世論調査		3,000	3,000	O	
多	様な手段による区政情報の発信					
	SNSを活用した情報発信の強化(P164)	新規	6,952	0	6,952	

▶広報広聴課

令和3年度予算額 (前年度予算額)

新規SNSを活用した情報発信の強化

6,952 ∓⊞

一 千円)

区は、令和2年8月から、千代田区LINE公式アカウントを開設し、登録者に防 災情報等の重要情報を一斉配信しています。

令和3年度は、従来の一斉配信に加え、<u>登録者自身があらかじめ選択した区政情報を受け取ることができる「セグメント配信」を開始</u>し、重要情報のみならず、登録者のニーズに沿った情報の配信を行います。



3

質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します

【ちよだみらいプロジェクト:施策の目標 37】

多様なニーズを持つ区民に対し、区民の目線に立った質の高い行政サービスを提供するため、限られた財源や職員を最大限に活用していきます。

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 行政評価の実施により区政の透明性が向上し、区民との信頼関係が構築されるとともに、PDCAサイクル*が確立され、効果的・効率的な区政運営が行われている。
- ●機動力のある執行体制のもと、高い倫理観・使命感を持ち、区民の目線に立って自ら考え行動できる職員が育つことにより、質の高い行政サービスが迅速に提供されている。
- ユニバーサルデザインの考え方に基づく取組みが進み、ハード(施設整備等)・ソフト (サービス提供等)の両面において区民満足度が向上している。
- 税や保険料の収納率向上、使用料等の受益者負担の適正化が進み、健全な財政運営や 区民負担の公平性の確保が図られている。
- 公共サービスが、最適な実施主体により運営されることで、コストの削減や効率性の向上などの効果が表れるとともに、区民サービスが向上している。
- ICTが活用され、区民の利便性が向上するとともに、事務の効率化が図られている。
- ※ PDCAサイクルとは、施策や事務事業の企画・立案、実施、評価、見直し(Plan-Do-Check-Action)のサイクルを継続して行うことにより、施策や事務事業を見直し、その結果を実施方法の改善や予算へ反映させる手法をいいます。

(単位:千円) 「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を 新規 実現するための主な取組み 拡充 3予算額 2予算額 増(△)減額 独自 主な事業 (掲載ページ) 行政評価 行政評価制度の推進 4,378 4.983 △ 605 計画的な人材育成 職員研修 24,759 29,901 △ 5,142 職員提案の実施 企画財政一般事務費 101 101 Ο ※職員提案の実施分のみ

	(単位:千円)							
	ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を 現するための主な取組み	新規 拡充	3予算額	2予算額	増(△)減額			
	主な事業(掲載ページ)	独自						
1	ICTの活用等による事務の効率化							
	全庁LANの運営(P167)	拡充	1,572,976	882,178	690,798			
	総合住民サービスシステムの運営(P169)	856,902	978,961	△ 122,059				
	総合行政システムのリプレース(P171)		33,623	62,209	△ 28,586			
	デジタル化の推進に向けた調査検討(P172)	新規	63,875	Ο	63,875			
そ	その他							
	(仮称)四番町公共施設整備(再掲)(P44)		133,596	361,300	△ 227,704			

令和3年度予算額 (前年度予算額)

		C-11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
拡充	全庁 L A Nの運営	1,572,976 ∓⊟
3/4/0	主力に入れの定占	(882,178 千円)
	全庁 L A Nの運営	839,966 千円
拡充	全庁 L A Nのリプレース	635,026 千円
新規	Web会議システムの運営	4,634 千円
新規	リモートワークシステムの運営	33,953 千円
新規	無線LANの運営	59,397 千円

1 全庁LANのリプレース

全庁LANは、庁内の情報化を推進し、住民サービスの向上と事務の効率化を 進めていくうえで必要不可欠な情報ネットワークとして、平成 19 年の区庁舎移 転時に全面的な再構築を行い、平成 28・29 年度に、耐用年数が経過する機器等 を更新(リプレース)するとともに、国主導のもと情報セキュリティの強化を行ってきました。

一方で、セキュリティの強化に伴いネットワークが分離・分割化され、事務効率の低下が起きていることから、事務効率性・利便性とセキュリティ確保の両立をめざした「新たな自治体情報セキュリティ対策」を推進することが求められています。

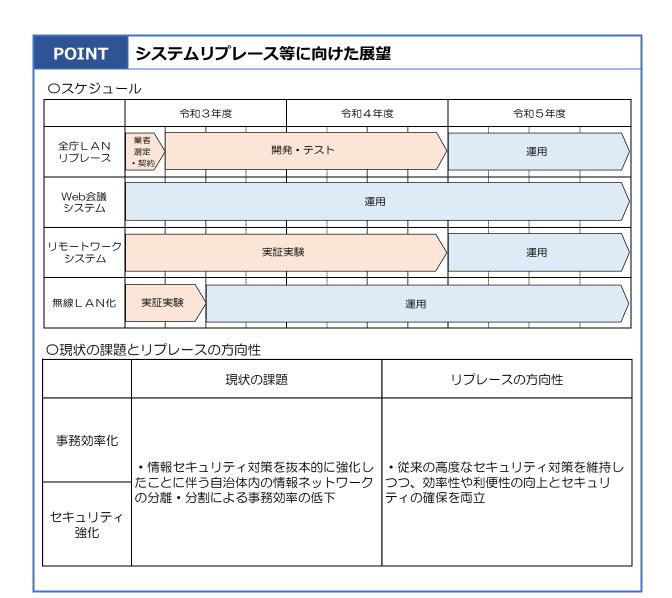
そこで、<u>複雑化したネットワークや老朽化した機器等の更新を行うとともに、</u> <u>従来の高度なセキュリティ対策を活かしつつ、効率性や利便性の向上に向けたシ</u> ステムリプレースに着手します。

2 Web会議システム・リモートワークシステムの運営

ウィズコロナにおける新しい生活様式を見据えて、関係機関等との円滑なコミュニケーションを実現するために、Web会議システムを運用していきます。また、新型コロナウイルス感染拡大による影響を踏まえ、有事の際にも区民サービスを滞りなく進めることや職員の多様な働き方を支援するために、<u>リモートワークシステムの運用を拡大</u>します。

3 無線LANの運営

職員が庁舎内のスペースを有効活用し、より機動的に業務を進められるようにすることやペーパーレス化による事務経費の削減のため、<u>各職場において無線LAN化</u>を進めます。



令和3年度予算額 (前年度予算額)

		(100 1 100 0 1 100 0
拡充	総合住民サービスシステムの運営	856,902 ∓⊞
JIAJU		978,961 千円)
	総合住民サービスシステムの運営	480,837 千円
	社会保障・税番号制度対応	34,139 千円
	総合住民サービスシステムのリプレース	278,786 千円
新規	行政手続オンライン化実証実験	63,140 千円

平成 23 年 10 月に稼働した総合住民サービスシステムは、住民記録、住民税、 国民健康保険、介護保険、児童手当、総合健診、個人番号カード交付管理など 22 システムで構成される、住民情報を扱う区の基幹業務を統合したシステムです。

運用開始から約 10 年が経過し、度重なる改修等により業務手順が煩雑化しているため、機能改善を目的としたシステムのリプレースを計画してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画の見直しが必要となったことから一時中断しました。

国では、新型コロナウイルス感染拡大により顕在化した行政の課題を解決するため、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」を策定し、自治体の情報システムの標準化・共通化、行政手続オンライン化など重点取組事項と具体的な計画を示しました。

そこで、本区においても、デジタル化を推進し、区民サービスを向上させるため、 以下の取組みを実施します。

1 総合住民サービスシステムのリプレース

令和2年度に引き続き、個別システム等で運営している一部のシステムについて、セキュリティの確保と運営上の課題から改修を行うとともに、国が示す「自治体の情報システムの標準化・共通化」の方針を受け、その活用を視野に入れた現状調査と行政サービスのあり方を検証したうえでシステムリプレースに着手します。

2 行政手続オンライン化実証実験

行政手続に係る区民等の利便性向上や行政運営の効率化を図るため、行政手続 オンライン化に向けた取組みを進めます。令和3年度は、<u>窓口手続のデジタル化</u> や各種証明書等の電子交付に係る実証実験などを行い、効果と課題を検証します。

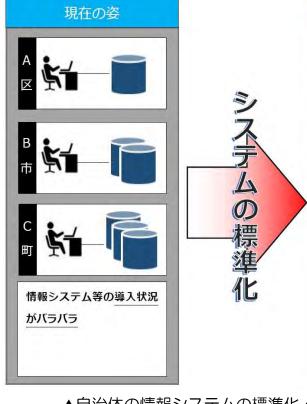
POINT システムリプレース等に向けた展望

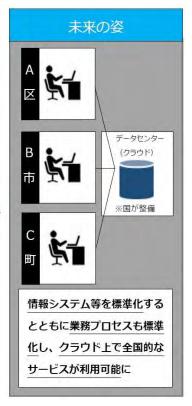
Oスケジュール

		令和3年度			令和4年度				令和	115年度		
システムリー総合住民サ	追加システム	開発・テスト	運用									
リプレース 民サー ビス	新システム	調査	• 検証	標準システム(クラウド)の利用も含めたリプレース ・一部システムについては国が整備するクラウドに順次移行し、 運用を開始 ・追加システムは、随時、新システムに統合予定								
行政 ³ オンラ		調査・	実証実験)	軍用			

〇現状の課題とリプレースの方向性

	現状の課題	リプレースの方向性
事務効率化	● 1TIEV	・標準システム(クラウド)の活用による 業務手順の標準化とシステムの運用保守に おける最適化 ⇒人的・財政負担が軽減 ⇒行政手続の利便性向上
セキュリティ 強化	・個別システム稼働によるセキュリティレベルのばらつき・外部からの新たな脅威	・統一的かつ迅速なセキュリティ対策を可能にする統合基盤を構築 ・最新のテクノロジーを用いたセキュリティ対策 →個人情報保護の強化





▲自治体の情報システムの標準化・共通化イメージ

令和3年度予算額 (前年度予算額)

総合行政システムのリプレース

33,623 ∓⊞

62,209 千円)

区の内部事務を支える総合行政システム(財務管理、文書管理、電子決裁)は、これまでの度重なる改修や機能追加などによりシステム間の業務連携が煩雑になっています。

そこで、業務効率化やさらなるセキュリティの向上を図るため、令和5年度の<u>新システム稼働に向けたシステムリプレースに着手</u>します。リプレースにあたっては、内部事務の効率化にとどまらず、新しい生活様式や将来の働き方改革への対応(リモートワーク)を視野に入れ、業務の標準化を進めるとともに、デジタル技術(RPA・AI)の活用を検討し、業務生産性の向上をめざします。

POINT システムリプレースに向けた展望 〇スケジュール 令和3年度 令和4年度 令和5年度 業者選定•契約 運用 開発・テスト • 要件確定 O現状の課題とリプレースの方向性 現状の課題 リプレースの方向性 ・システムの連携不足や紙とシステムから ・システム間連携を強化 生じる二重作業による効率低下、ミス誘発 ・機能強化により操作性を向上 事務効率化 ・業務手順の見直しと標準化により業務全 行政ニーズの多様化に伴う業務手順の煩 体を最適化 雑化 セキュリティ ・認証基盤を見直し、アクセス権制御等を • アクセスログやアクセス権制御が不十分 強化 強化

新規 デジタル化の推進に向けた調査検討

63,875 千円

一 千円)

区は、効率的かつ高度な行政サービスの実現をめざし、主要システムのリプレースをはじめ、各種業務のデジタル化の推進に取り組みます。

デジタル化の推進にあたっては、現在、<u>庁内で管理・保管している膨大な業務データを分析・調査し、既存システムの更新や新たなシステムの構築における最適化</u>を図っていきます。

また、必要なハードウェアなどの機器整備のみならず、デジタル化を進めていくうえで業務の統一性を確保するため、<u>外部の専門家等の意見を取り入れながら、規定やガイドラインなどの環境整備に取り組みます。</u>

